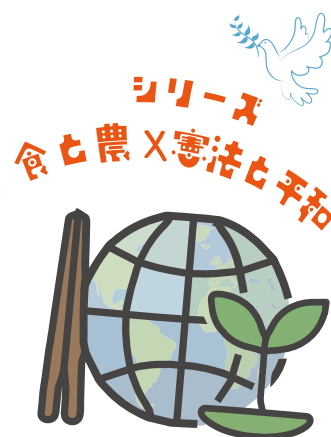


NO FARMERS NO FOOD NO FUTURE

農民連 連続オンライン講座

世界視点で持続可能な 食と農を考える



日本で農業を主な仕事にしている人が100万人を下回り、人口0.8%になってしまいました。日本の食料自給率は38%と非常に低く、多くを輸入に依存しています。農家の赤字経営が常態化し「米つくって飯くえねえ」と離農が急激に進んでいます。

世界では戦禍や気候危機で、各国は競って食料を確保しています。食は命の源です。金を払えば輸入できる時代ではありません。農民なくして未来はありません。激動の情勢のいま、世界視点で、食と農について考える連続を開講します。ぜひご参加ください。

2026年

新規開講!

多彩な講師陣で毎月開催!

第1回

工業的農業 VS 農民的農業
人新世に求められるのはどっち?



8/24 19時~20時

OKシードプロジェクト事務局長
印鑰 智哉 さん

食の問題、特に遺伝子組み換え問題を中心にブラジル、南米、人権・環境・開発問題、市民社会が抱える問題全般に関する講演活動。デトックス・プロジェクト・ジャパン共同代表。



第2回

持続可能な食と農のために
農家女性と地域の壁を考える



9/17 19時~20時

駒澤大学経済学部教授
姉齒 暁 さん

経済学博士。JORD Lab. (農家女性・農と食研究所) 所長。専門: 経済学、農家女性のジェンダー研究、学校給食、農業、行政、地域の連携に関する研究



第3回

アグロエコロジーを社会に根付かせる
—米国・ブラジルの事例にみる、
持続可能な農業を支える多様なしくみ—



10/20 19時~20時

明治国際医療大学
山本 奈美 さん

専門は食農社会学。アグロエコロジーなどに関する論文多数。



第4回

サクサク食感、ジワジワ不安
—ポテチから見る食の裏側—



11/25 19時~20時

農民連食品分析センター 所長
八田 純人 さん

2000年中国産冷凍ほうれん草の残留農薬問題を発見し、食品衛生法改定のきっかけをつくった。農業と消費生活に密着した視点で体験型の情報を提供している。3児のパパ。



参加費 各回 500 円

申し込みは、所属の農民連へ
農民連会員 / 賛助会員は無料

※この講座は、完全オンライン (ZOOM) です。

会員 / 賛助会員は無料です。所属組織までお申し込みください。
一般の方は、ピーティックスでチケットを購入後、[チケットを表示する]
から情報をご確認ください。ご不明な点は、農民連本部までご連絡ください。

主催: 農民運動全国連合会 (農民連)

〒173-0025 東京都板橋区熊野町 47-11 社医研センター 2 階
TEL: 03-5966-2224 Mail: info@nouminren.ne.jp